

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公開番号】特開2010-195714(P2010-195714A)

【公開日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2009-42671(P2009-42671)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/22	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/70	4 0 1
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 K	37/24	

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月15日(2011.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アミノ酸配列がHyp-Glyで表されるジペプチドまたはその薬理学的に許容される誘導体を含有し、皮下または経皮により投与されることを特徴とする、創傷治療のための医薬組成物。

【請求項2】

剤形が、クリーム剤、ゲル剤、軟膏剤、液剤、粉剤、塗布剤、乳剤、噴霧剤、滴剤、散剤、貼付剤またはドレッシング剤である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

アミノ酸配列がHyp-Glyで表されるジペプチドまたはその薬理学的に許容される誘

導体を含有し、剤形が、塗布剤、貼付剤またはドレッシング剤である、創傷治療のための医薬組成物。

**【請求項 4】**

前記ペプチドまたはその誘導体の含有量が 0 . 1 ~ 5 0 重量 % である、請求項 1 ~ 3 のい  
ずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項 5】**

前記ペプチドまたはその誘導体の含有量が 0 . 5 ~ 1 0 重量 % である、請求項 1 ~ 3 のい  
ずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項 6】**

さらに、止血活性物質、成長因子、抗感染物質、鎮痛物質および抗炎症物質からなる群より選択される一種類以上を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物。